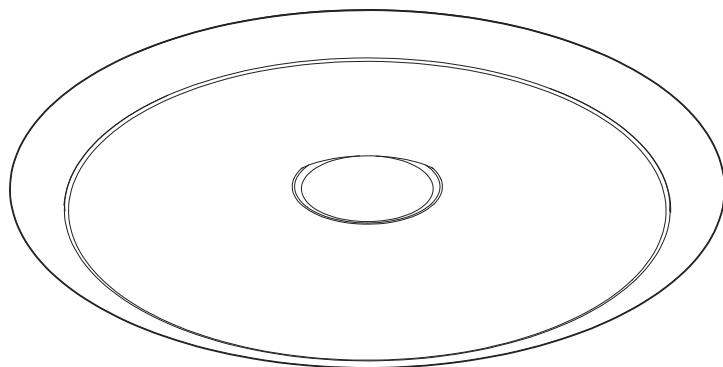




取り付け可能な天井配線器具形状

天井からの出し方	20mm以上24mm未満			10mm以上14mm未満
形状	角型引掛シーリング 	丸型引掛シーリング・ローゼット 耳部		
	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	フル引掛ローゼット	丸型フル引掛シーリング
			埋込ローゼット (耳つき)	埋込ローゼット (耳なし)

下記への取り付けは工事店・電気店にご相談ください。

配線だけのもの	アウトレットボックスのもの

※電気工事士の資格が必要です。

保証書付

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

LED シーリングライト

保管用

CL8DL/S-FEⅢ

CL12DL/S-FEⅢ

CL14DL/S-FEⅢ

取扱説明書

主な機能

- 調光10段階
- 調色11段階
- メモリ点灯
- ぐっすりモード
- おやすみモード
- シーン選択
- チャンネル切り替え (2チャンネル)

もくじ

ページ

安全上の注意	2
各部の名称	4
取り付け	7
取り外し	10
明かりをつける	11
便利な機能	12
お手入れについて	21
故障かな?と思ったら	22
仕様	23
保証とアフターサービス	23
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

IRIS OHYAMA

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

※配線器具の交換は有資格者による電気工事が必要です。資格のない方の工事は法律で禁止されています。

※ここに示した「警告」または「注意」項目は、お使いになる方や周囲の方々への危害防止および財産の損害防止を目的としたものです。いずれも安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生したりするおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」



しなければならない「指示」



一般注意を促す

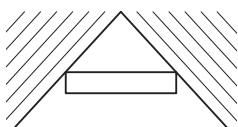
警告



禁止

次のような場所には取り付けない

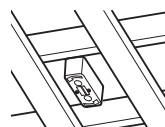
本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



舟底天井



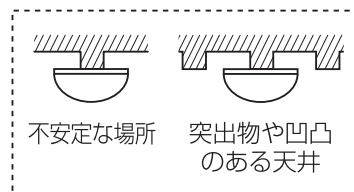
さおぶち天井



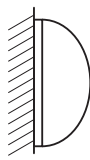
格子天井



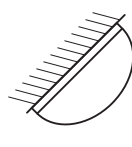
補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石膏ボードなど)



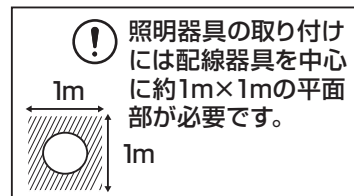
簡単にたわむ天井



壁面



傾斜天井



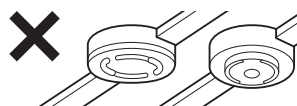
照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。



禁止

次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下してけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。(配線器具の交換は資格が必要です)



ケースウェイに取り付けている



破損、またはぐらつくもの



シーリングハンガー付



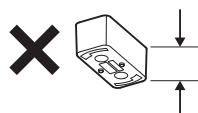
埋込ローゼットの出しろが10mm未満14mm以上



端子電源端子露出



凸部凸部のあるもの



角型・丸型引掛シーリングの出しろが20mm未満24mm以上

警告

 改造	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。	 必ず実施	取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。
 調光器	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。 		異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
 可燃物	可燃物で覆ったり、被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。		交流100Vで使用する 火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
			清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る 感電の原因になります。

注意

 直視禁止	LED光源を直視しない 目の傷みの原因になる場合があります。	 禁止	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になりますので、高温の場所へは設置しないでください。
 接触禁止	点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になる場合があります。		屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止	破損した場合は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理に出してください。		薬品を使用しない 変形、火災の原因になります。 殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。
	温度が高くなる機器を近くに置かない 故障の原因になります。 以下のような設置場所は避けてください。 ・エアコン吹き出し口近くへの設置 ・真下に発熱機器の設置(ストーブ・コンロ等)	充電電池をリモコンに使用しない 操作できない場合があります。	
	水洗いしない 火災・感電の原因になります。 水につけたり、かけたりしないでください。 (21ページ参照)	 必ず実施	年に1回は自主点検を実施する 長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。 (23ページ参照) 設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、 年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

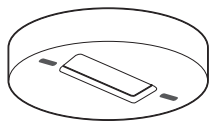
ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさ・光色を切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。
その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。使用しないときは、壁スイッチをOFFにしてください。ただし、ぐっすりモードやおやすみモードを設定しているときは除きます。
- LED光源には、ばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがでることがあります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。

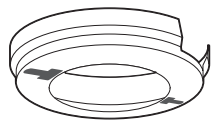
各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

照明器具

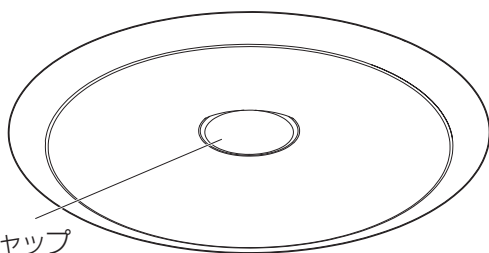


スペーサー（角）



スペーサー（丸）

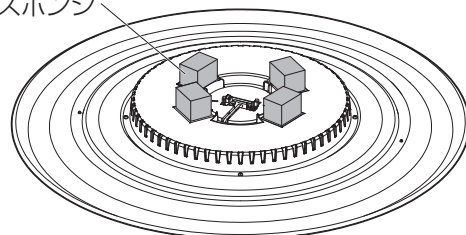
本体（分解しないでください）



センターキャップ

本体裏側

スポンジ



リモコン付属品

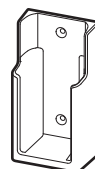
- リモコン:1台
(操作方法は11ページ参照)



- 単4形乾電池:2本
※動作確認用



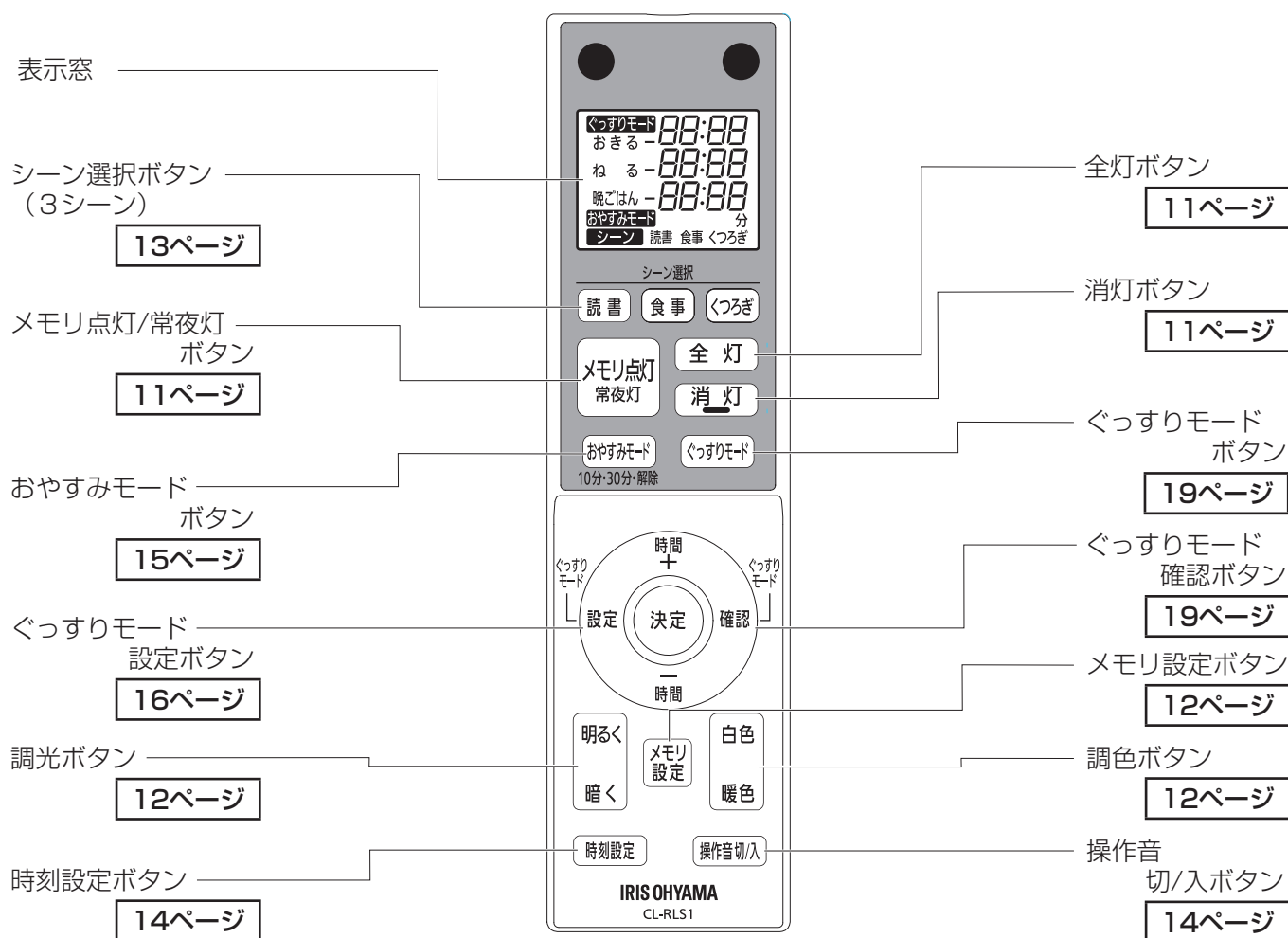
- リモコンホルダー:1個



- ねじ:2本

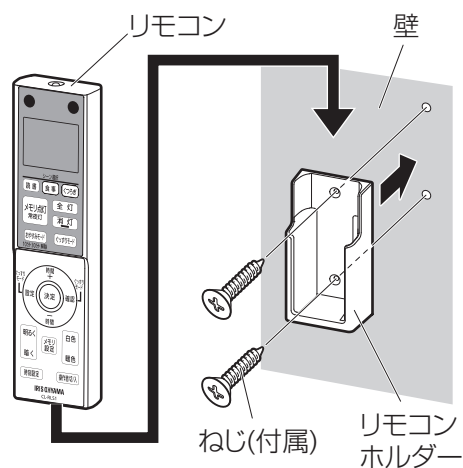


リモコン



リモコン収納のしかた

- リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
(※収納した状態では操作しないでください)



乾電池の入れかた

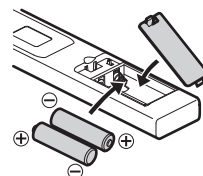
つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる。

1



表示に合わせて＋－を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める。

2



- 電池の寿命は、新品のアルカリ電池を使用した場合で約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
- 電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
※充電式電池は使用できません。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を外して保管してください。

■ チャンネル切り替えについて

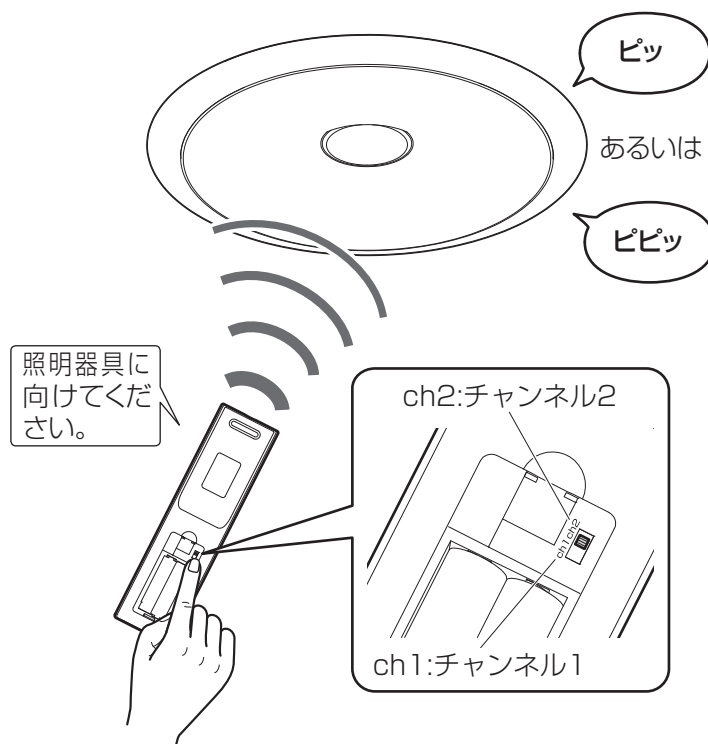
※出荷時はチャンネル1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON（入）になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。
※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が本体にも送られます。

チャンネルが切り替わると、照明器具から音が出ます。
チャンネル1に切り替え：「ピッ」
チャンネル2に切り替え：「ピピッ」

照明器具からの音を確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。

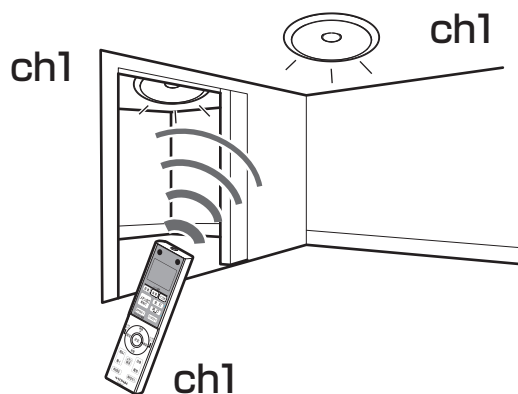


複数の照明器具がある場合

● 1つのリモコンで操作する

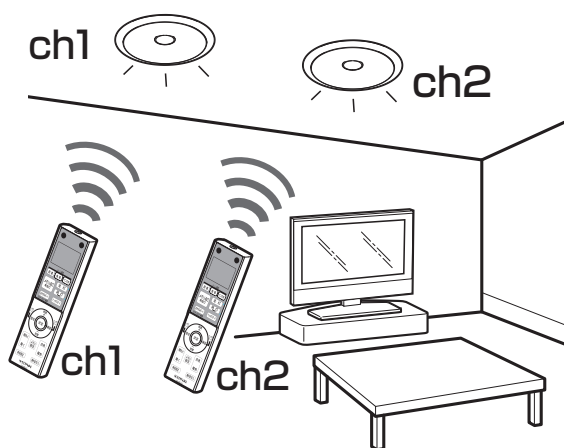
隣接する照明器具を同じチャンネルに設定します。

※ 照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



● 別々のリモコンで操作する

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



ご注意

複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づけるなどして設定してください。

他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。

※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF（切）にしたり、間に扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

取り付け



警告

必ず電源を遮断してください。



注意

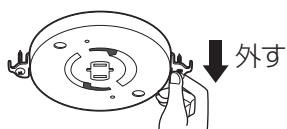
高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

天井に付いている配線器具を確認する

右図以外の配線器具、または配線だけのものは取り付けできません。

一般の方の工事は法律で禁止されています。
電気店または工事店に依頼してください。

※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、
ねじを外してから照明器具を取り付けてください。



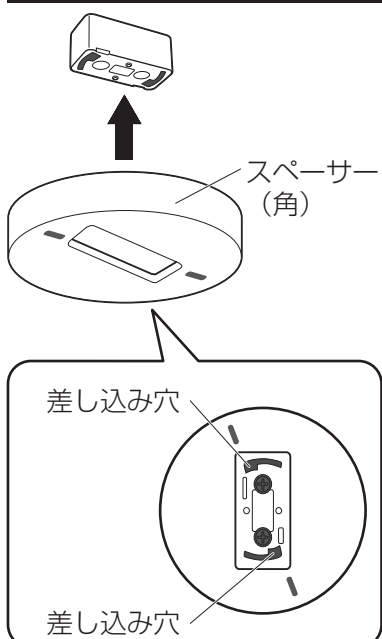
<側面図> 天井からの出しろ 天井 出しろ		
20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満	
 角形引掛シーリング	 丸形引掛シーリング	 埋込ローゼット (耳つき)
 フル引掛シーリング	 丸形フル引掛シーリング	 埋込ローゼット (耳なし)

配線器具にスペーサーを取り付ける

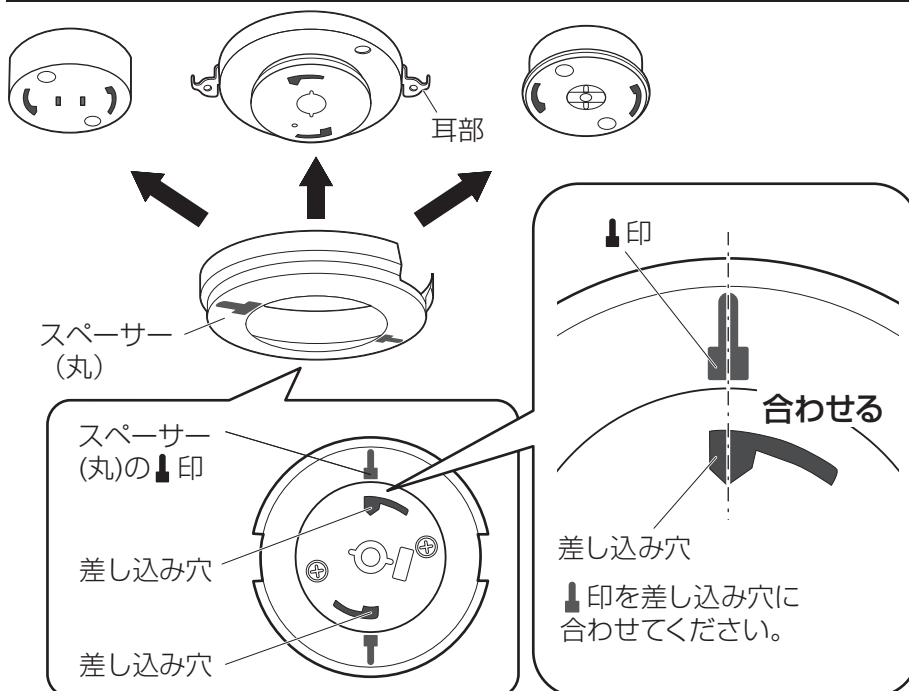
それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。
(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)

※一部の配線器具には取り付けられない（ゆるい、きつい）場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

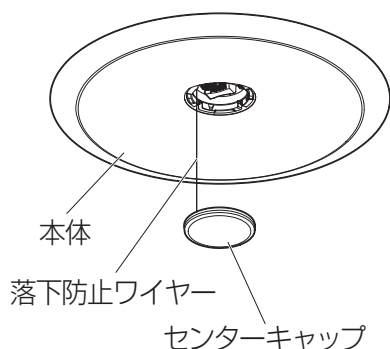
角型引掛シーリングの場合



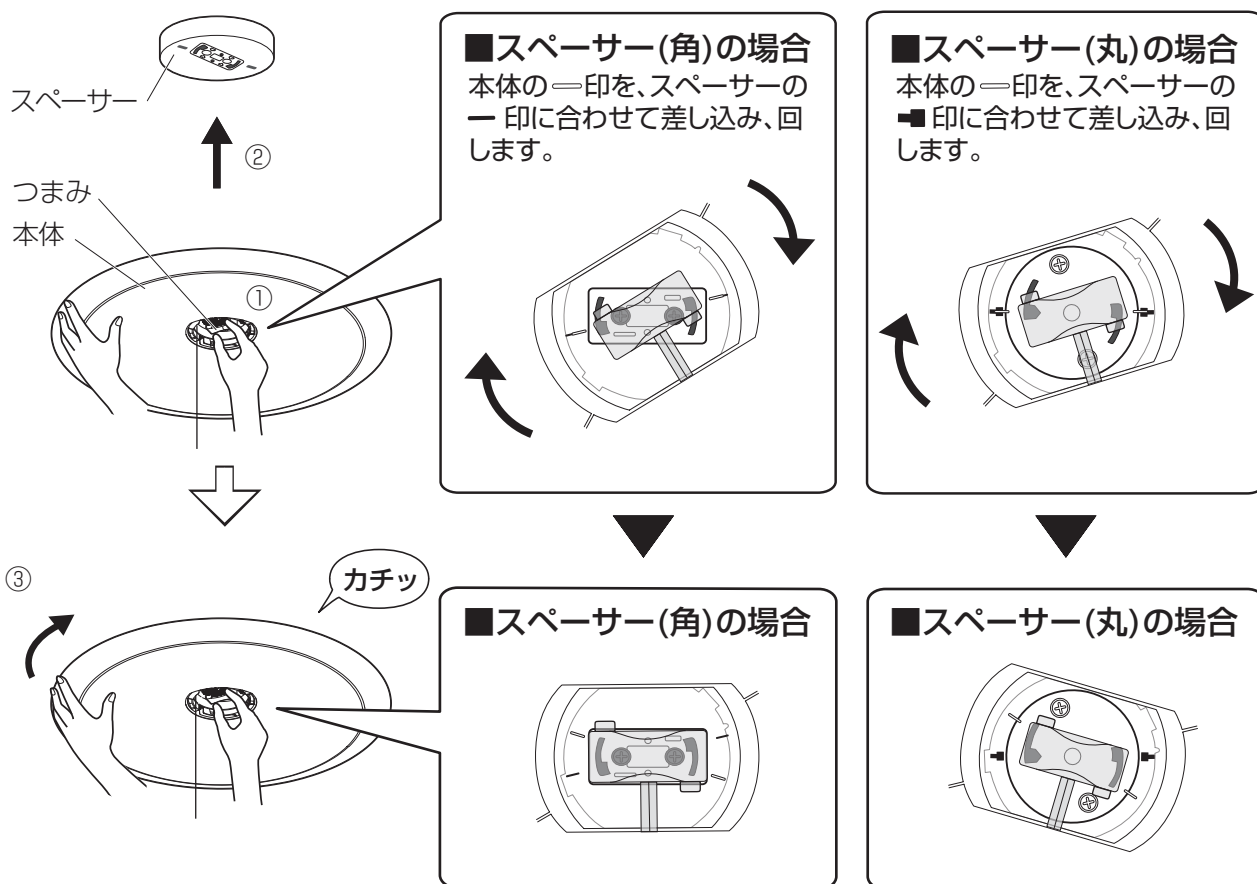
丸型引掛シーリング・ローゼットの場合



本体を取り付ける



- ① 本体中央のつまみを持ち、センターキャップが取り付け穴から配線器具の（端子）差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
- ② そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
- ③ つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン（「取り外し」参照）は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。

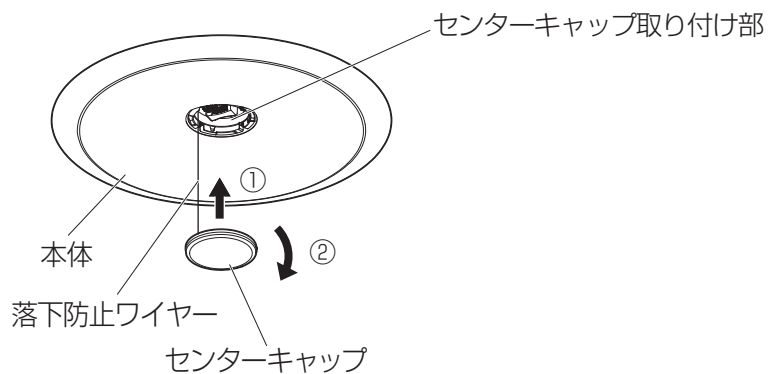


注意

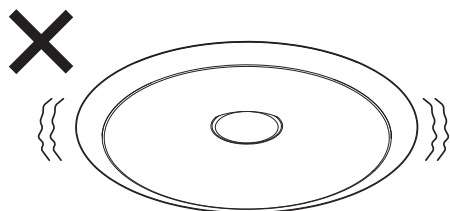
本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

センターキャップを取り付ける

- ①センターキャップを本体に差し込み、軽く押し付けながら、
- ②時計回りに回し、確実に取り付けてください。



本体がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度本体を外して、取り付けなおしてください。

取り外し

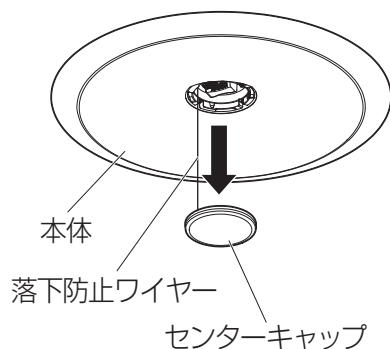


警告

- 取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
- 消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

センターキャップを外す

本体を押さえながら、反時計回りに回して本体から取り外してください。



1

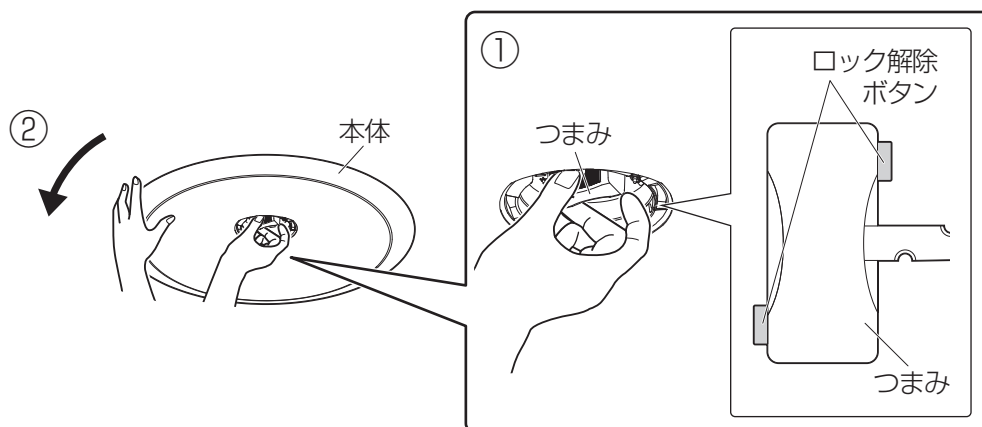
本体を取り外す

- ①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ共押しながら、
- ②反時計回りに回して本体を外してください。



注意

- 本体を片方の手で支えながら外してください。器具の落下によるけがや破損の原因となります。



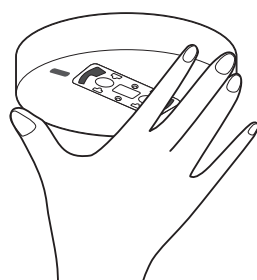
2

スペーサーを取り外す



注意

本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。



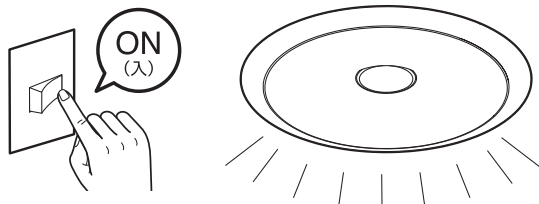
3

明かりをつける

■ 壁スイッチで操作する

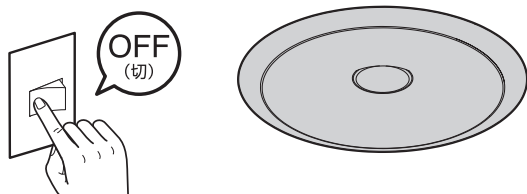
点灯

壁スイッチを切る前の点灯状態になります。

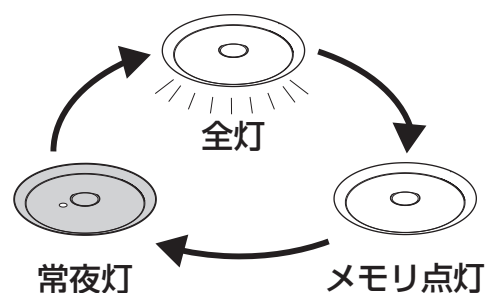
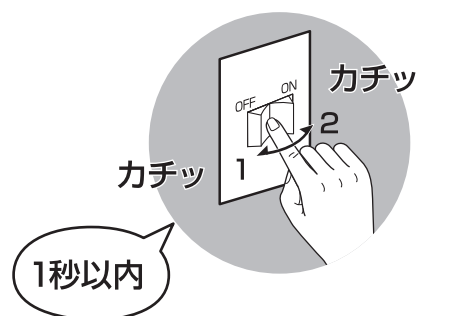


消灯

消灯します。



点灯状態の切り替え



素早く(1秒以内)スイッチを切入することで、点灯状態を切り替えることができます。

お知らせ

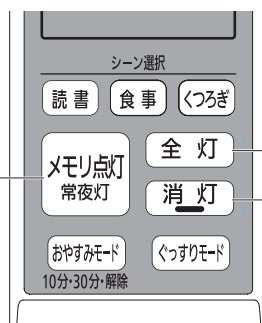
- 工場出荷時の点灯状態は全灯です。
- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、リモコンで点灯してください。
- 壁スイッチを切ると、おやすみモードとぐっすりモードは解除されます。ただし、ぐっすりモードは、壁スイッチを入れたあと、リモコンからの信号を受信すると動作します。

■ リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、お好みのボタンで点灯させてください。

メモリ点灯／常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※ 出荷時に記憶されている明かり(点灯状態)は全灯です。



全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

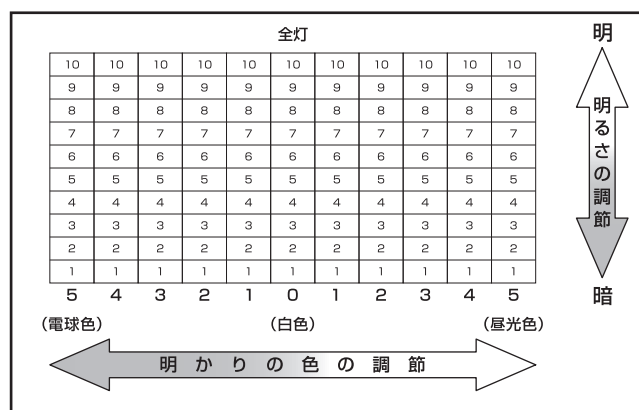
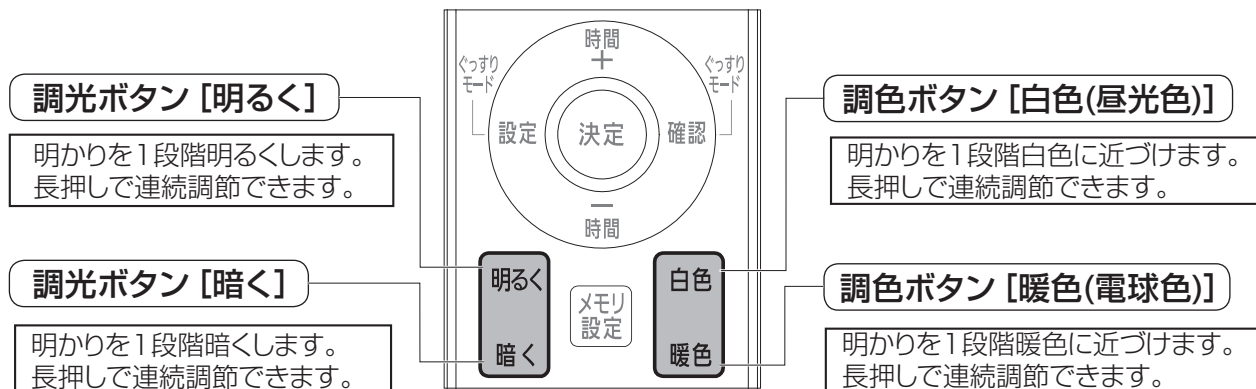
消灯ボタン

明かりを消灯させます。

便利な機能

■ 明るさと色を変える

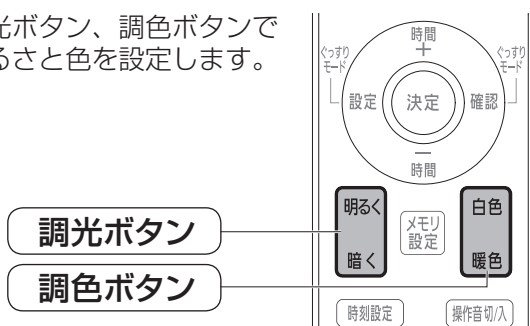
照明器具の明るさと色が調節できます。
 ※調光10段階（常夜灯は2段階）、調色11段階。
 ボタンを押すと、「ピッ」と音がします。
 調光範囲をこえると、「ピピッ」と音がします。



■ 明るさと色を記憶させる

調光ボタン、調色ボタンで明るさと色を設定します。

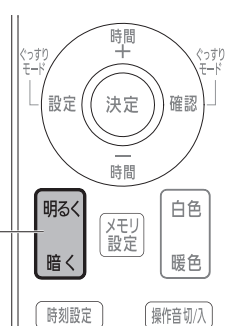
1



■ 常夜灯の明るさを調節する

常夜灯点灯時に「明るく」、「暗く」のボタンで2段階に調節できます。常夜灯を次回点灯したときは、前回の明るさを再現します。

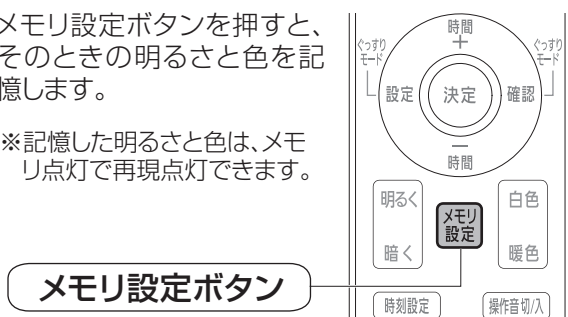
調光ボタン



メモリ設定ボタンを押すと、そのときの明るさと色を記憶します。

2

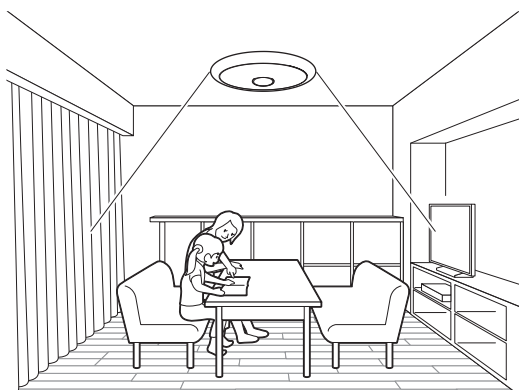
※記憶した明るさと色は、メモリ点灯で再現点灯できます。



■ シーンに合わせて明かりを演出する

リモコンのシーン選択ボタンを押すと、使用シーンに合わせた明かりで点灯します。

読書：読書に合わせた明かり

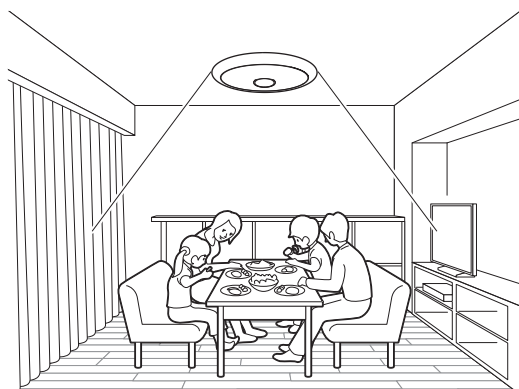


(文字が読みやすい、昼白色相当の明るい光)

ボタンを押す



食事：食事に合わせた明かり

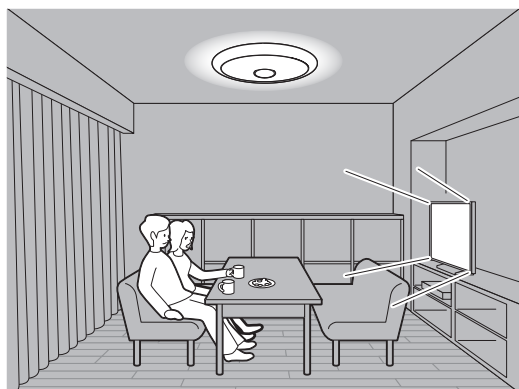


(暖かな電球色相当の明るい光)

ボタンを押す



くつろぎ：くつろぎに合わせた明かり



(明るさを抑えた暖かな電球色相当の光)

ボタンを押す

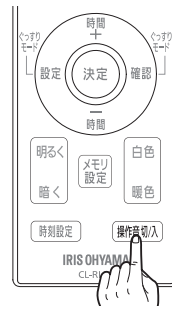


■ 操作音を設定する

操作音の有無を設定します。

設定

操作音 切/入ボタンで、操作音の入（操作音有り）、切（操作音なし）を切り替えることができます



■ 時刻を設定する

時刻表示を“時（24時間制表示）”、“分”単位で設定します。

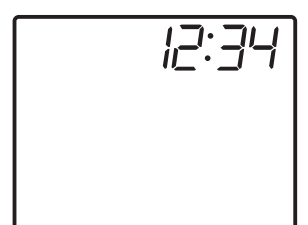
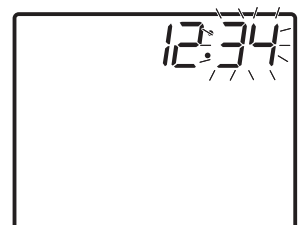
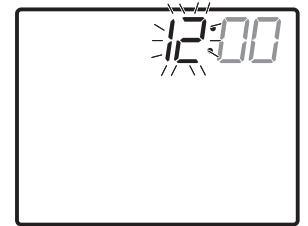
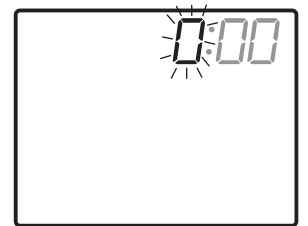
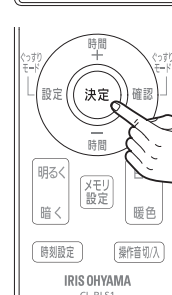
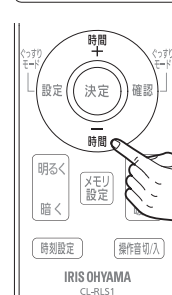
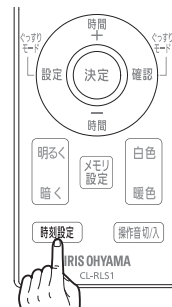
「時刻設定」ボタンを、液晶表示の時刻表示部分の左1桁“時”が点滅するまで、1秒以上長押しします。

「時間+」、「時間-」ボタンを押して“時”を合わせます。

「決定」ボタンを押します。
“時”が設定され、今度は液晶表示の時刻表示部分の右2桁“分”が点滅します。

「時間+」、「時間-」ボタンを押して“分”を合わせます。

「決定」ボタンを押します。
時刻が設定され、表示を始めます。



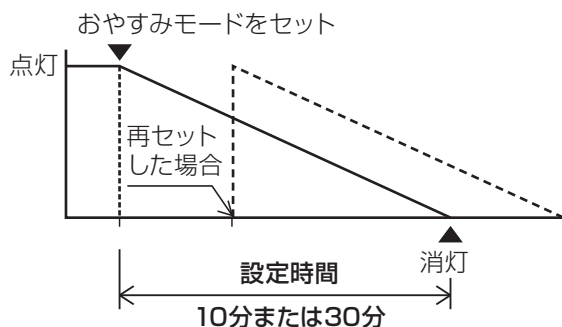
時刻設定

■おやすみモード

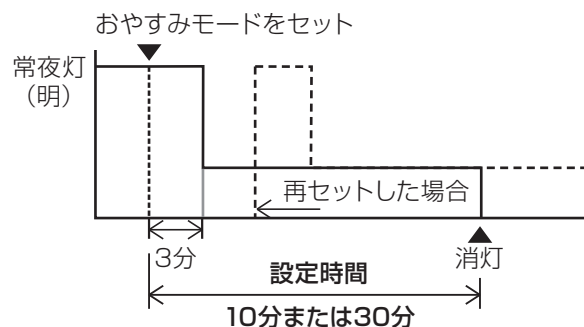
セットした後、徐々に暗くなり、設定時間（10 分または 30 分）で消灯します。

おやすみモード動作中でも再度設定を行うことができます。設定方法は最初に設定するときと同じ方法です。

〈点灯状態からのおやすみモード動作イメージ〉

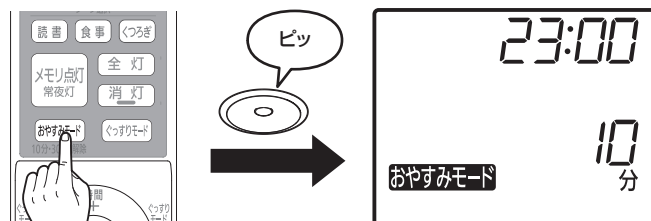


〈常夜灯でのおやすみモード動作イメージ〉

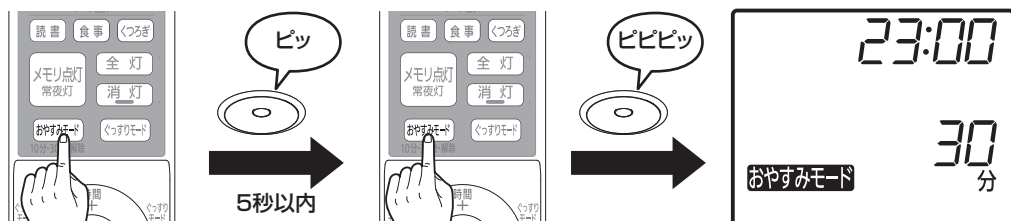


※暗めの常夜灯で設定した場合、明るさは変わりません。

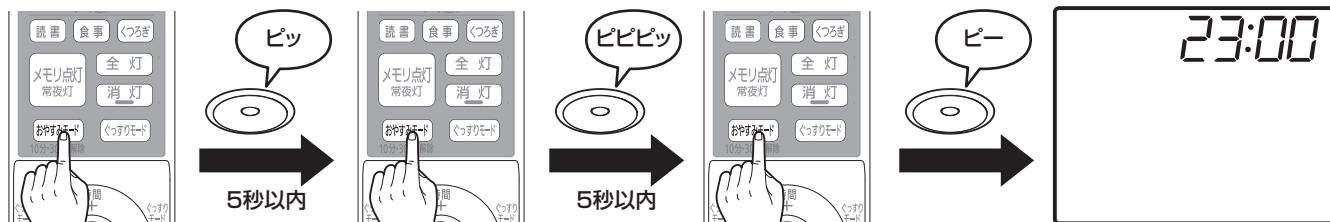
10分に設定したいときは、1回押します。



30分に設定したいときは、2回押します。



設定を解除したいときは、3回押します。（ピッ→ピピピッ→ピー）



おしらせ

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみモードは解除されます。
- ぐっすりモード中でも使えます。（おやすみモードが優先します。）
- 調光ボタンなど、点灯状態を変えるボタンを押すと、おやすみモードは解除されます。

■ぐっすりモード

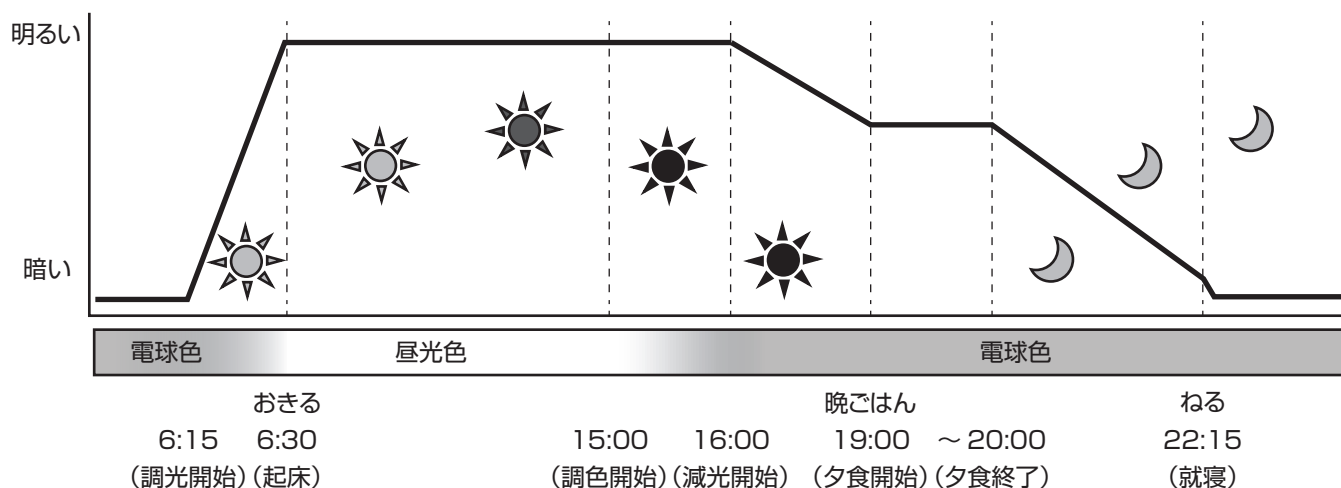
「おきる」、「晩ごはん」、「ねる」の3つの時刻を設定するだけで、起床から就寝までの明かり（明るさ、光の色）を自動的にコントロールします。

生活リズムを整え、良質な睡眠（睡眠潜時^{*1}の短縮、睡眠効率^{*2}の向上、睡眠リズムの安定）を得ることが期待できます。

※1：睡眠潜時：消灯あるいは就寝から実際に眠りにつくまでの時間。睡眠潜時が短いほど、寝つきがよいということになります。

※2：睡眠効率：横になっている時間に対する、実際の睡眠時間の割合のことです。

【ぐっすりモード点灯例】



シーリングライトの明るさと色をコントロールして自然界の光を再現します。

この、明るさと色の「光刺激」により、体内時計の周期を整え、脳内ホルモンの分泌を正常化します。

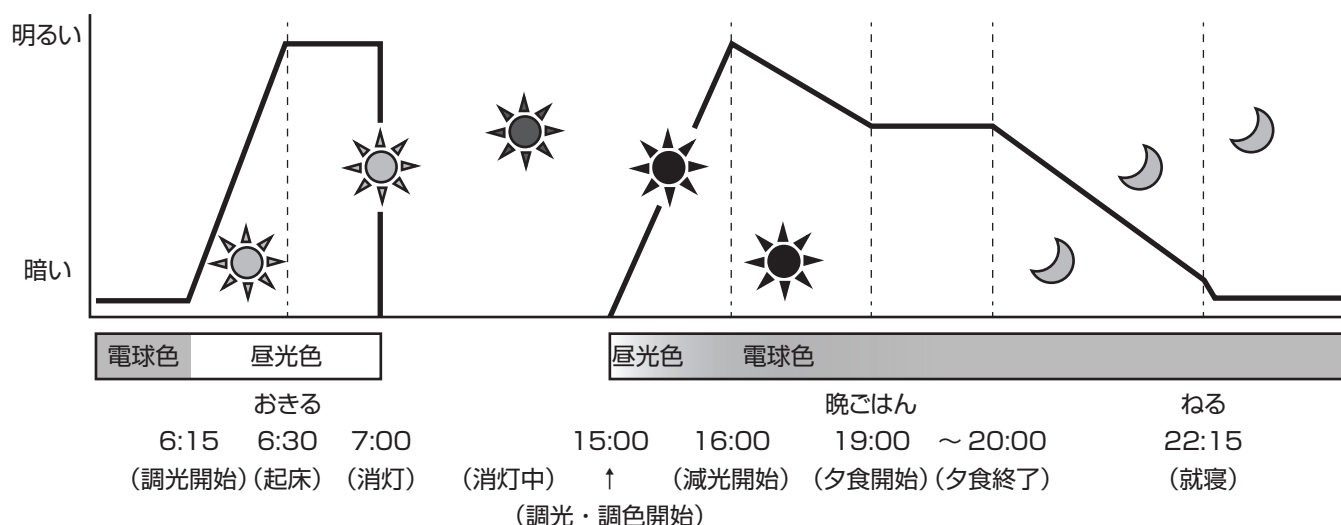
起床後は真昼の太陽光のような青白く明るい光（昼光色）で点灯し、夕方から夕食、就寝にかけては夕焼けのような赤みがかった光の色（電球色）で、晩ごはんの時間帯を除き、徐々に暗くしていきます。

就寝前には明るさを下げてメラトニンの分泌を促し、自然な睡眠を誘導します。

おしらせ

- ぐっすりモード動作中におやすみモードを設定した場合は、おやすみモードが優先します。
- 必ず、照明器具と通信できるところにリモコンを置いてください。
- ぐっすりモード動作中は、スケジュールの変更（次頁の「スケジュール設定」）はできません。

【昼間、消灯した場合のぐっすりモード点灯例】

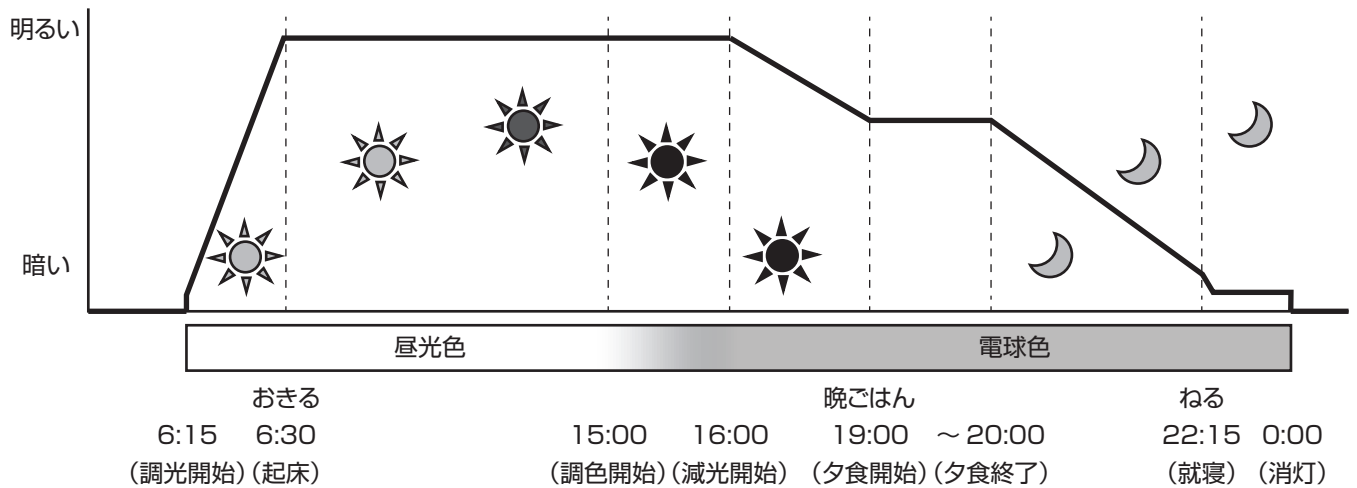


起床後、十分明るければ、リモコンで消灯してもかまいません。

※壁スイッチを切って消灯することもできますが、その後、壁スイッチを入れておかないと、再開しません。

15時になると昼光色の一番暗い状態で点灯し、16時まで1時間かけて徐々に明るく、徐々に昼光色から電球色に調色し、その後は元のぐっすりモードで点灯します。

【夜間、消灯した場合のぐっすりモード点灯例】



夜間、照明が明るければ、リモコンで消灯してもかまいません。

※壁スイッチを切って消灯することもできますが、その後、壁スイッチを入れておかないと、再開しません。

起床時間の15分前から、元のぐっすりモードで点灯します。

ぐっすりモードに関するおしらせ

■リモコンは、必ず、照明器具と通信できる場所に置いてください

リモコンから照明器具に信号を送り、明るさや色をコントロールします。

■ぐっすりモード中に操作できる機能と、おやすみモード再開のタイミングについて

●操作できる機能は、下記に限られます。

- ・ぐっすりモードのスケジュールを確認する : (ぐっすりモード)「確認」ボタン
- ・操作音を入/切する : 「操作音 切/入」ボタン
- ・おやすみモードを設定する : 「おやすみモード」(設定)ボタン
- ・常夜灯へ切り替える : 「メモリ点灯/常夜灯」ボタン
※メモリ点灯はできません。
- ・全灯で点灯する : 「全灯」ボタン
- ・消灯する : 「消灯」ボタン

●点灯状態を変えたり、消灯していたときは、次のタイミングでぐっすりモードを再開します。

- ・起床 15 分前
- ・15:00
- ・16:00
- ・18:00

■ぐっすりモード中におやすみモードを使いたいとき

ぐっすりモード中でもおやすみモードを使用することができます。

※おやすみモードを使用すると、「ぐっすりモード」の表示が点滅し、起床時刻の15分前まで消灯状態が続きます。

■ぐっすりモード中に消灯したいとき

「消灯」ボタンを押すと「ぐっすりモード」の表示が点滅し、前述の時刻で再点灯するまで消灯状態になります。

■ぐっすりモード中に一時的に明かりを点けたいとき

「全灯」ボタンを押すと、1分間だけ全灯状態になり、その後、ぐっすりモードに戻ります。

※全灯中は、「ぐっすりモード」の表示が点滅します。

■ぐっすりモード中に全灯を続けたいとき

一度「消灯」ボタンを押すか、おやすみモードで消灯状態(「ぐっすりモード」の表示が点滅した状態)になったあと、「全灯」ボタンを押すと、前述の時刻になるまで全灯状態で点灯します。

■ぐっすりモード中に常夜灯にしたいとき

一度「消灯」ボタンを押すか、おやすみモードで消灯状態(「ぐっすりモード」の表示が点滅した状態)になったあと、「メモリ点灯/常夜灯」ボタンを押すと、前述の時刻になるまで常夜灯が点灯します。

※常夜灯は、常夜灯が最後に点灯したときの明るさで点灯します。

■ぐっすりモード中に調光や調色、シーン選択をしたいとき

「ぐっすりモード」ボタンを押し、ぐっすりモードを解除してください。ぐっすりモード中は操作できません。

■ぐっすりモードの使いかた

ぐっすりモードを使うには、次の2つの操作を行います。

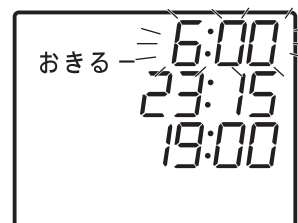
- 1 スケジュール設定 : 「おきる」、「ねる」、「晚ごはん」の3つの時刻を設定します。
- 2 動作設定 : 設定したスケジュールで調光・調色するようにします。

また、次の機能を利用することもできます。

- ・ 確認 : 設定したスケジュールを確認することができます。
- ・ 解除 : ぐっすりモードによる調光・調色を止めます。

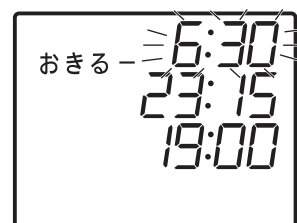
●スケジュールの設定を開始する

ぐっすりモード「設定」ボタンを押して、スケジュールの設定を始めます。

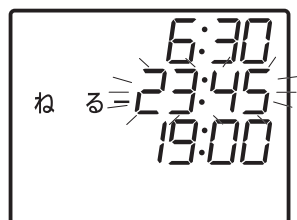


●起床時刻を設定する

「おきる」の右側の時刻表示が点滅するので、「時間+」、「時間-」ボタンを押して、5:30から7:00の間で、起床時刻を15分単位で設定します。

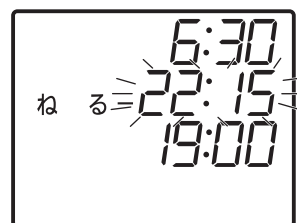


起床時刻を決めたら、「決定」ボタンを押します。

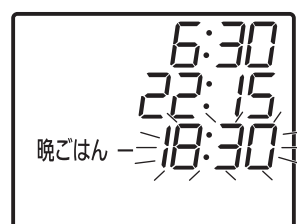


●就寝時刻を設定する

「ねる」の右側の時刻表示が点滅するので、「時間+」、「時間-」ボタンを押して、推奨する3つの時刻からお好みの就寝時刻を選択します。



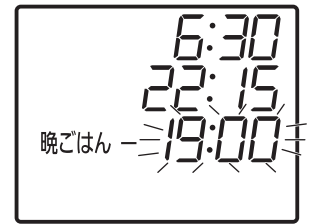
選択したら、「決定」ボタンを押します。



●夕食時刻を設定する

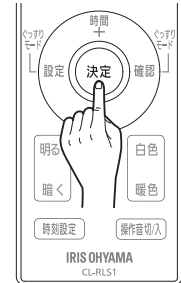
「晩ごはん」の右側の時刻表示が点滅するので、「時間+」、「時間-」ボタンを押し、晩ごはんを始める時刻を15分単位で設定します。

※18時から、就寝時刻の最低2時間前までに食事が始められる時刻が選択できます。



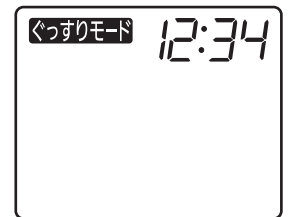
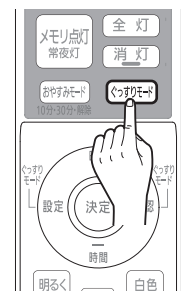
「決定」ボタンを押します

「晩ごはん」の右側の時刻表示の点滅が終わり、現在時刻表示に戻ります。



●ぐっすりモードを設定する

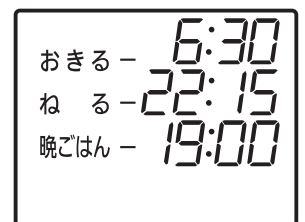
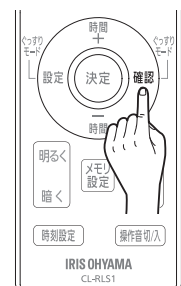
「ぐっすりモード」ボタンを押し、液晶画面に「ぐっすりモード」が表示されることを確認し、照明器具と通信できるところに置いてください。



●ぐっすりモード「確認」ボタンを押す

ぐっすりモード「確認」ボタンを押すと、3つの設定時刻を確認することができます。

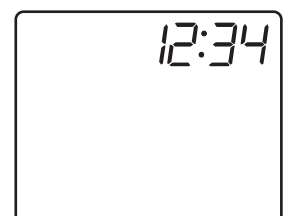
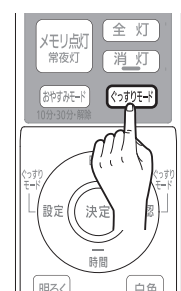
※ぐっすりモード「確認」ボタンを押した後、ほかのボタンを押すか、何も操作しないで15秒経過すると、現在時刻表示に戻ります。



●ぐっすりモードボタンを押す

「ぐっすりモード」ボタンを押し、液晶画面の「ぐっすりモード」の表示が消えたことを確認してください。

※ぐっすりモードを解除すると、メモリ点灯状態で点灯します。



ぐっすりモード設定時刻早見表

おきる	5:30		
ねる	22:45 ぐっすり6h	21:15 ぐっすり7.5h	20:00 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15		
	18:30		
	18:45		
	19:00		

おきる	5:45		
ねる	23:00 ぐっすり6h	21:30 ぐっすり7.5h	20:15 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15	18:15	18:15
	18:30		
	18:45		
	19:00		
	19:15		

おきる	6:00		
ねる	23:15 ぐっすり6h	21:45 ぐっすり7.5h	20:30 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15	18:15	18:15
	18:30	18:30	18:30
	18:45		
	19:00		
	19:15		
	19:30		

おきる	6:15		
ねる	23:30 ぐっすり6h	22:00 ぐっすり7.5h	20:45 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15	18:15	18:15
	18:30	18:30	18:30
	18:45	18:45	18:45
	19:00		
	19:15		
	19:30		
	19:45		

おきる	6:30		
ねる	23:45 ぐっすり6h	22:15 ぐっすり7.5h	21:00 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15	18:15	18:15
	18:30	18:30	18:30
	18:45	18:45	18:45
	19:00	19:00	19:00
	19:15		
	19:30		
	19:45		
	20:00		

おきる	6:45		
ねる	0:00 ぐっすり6h	22:30 ぐっすり7.5h	21:15 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15	18:15	18:15
	18:30	18:30	18:30
	18:45	18:45	18:45
	19:00	19:00	19:00
	19:15	19:15	19:15
	19:30		
	19:45		
	20:00		
	20:15		

おきる	7:00		
ねる	0:15 ぐっすり6h	22:45 ぐっすり7.5h	21:30 ぐっすり9h
晩ごはん	18:00	18:00	18:00
	18:15	18:15	18:15
	18:30	18:30	18:30
	18:45	18:45	18:45
	19:00	19:00	19:00
	19:15	19:15	19:15
	19:30	19:30	19:30
	19:45		
	20:00		
	20:15		
	20:30		

レム睡眠、ノンレム睡眠の周期から、睡眠時間を6時間、7.5時間、9時間にすると良い目覚めになることがわかっています。ぐっすりモード6h、7.5h、9hはそれぞれの睡眠時間を、しっかりととれるように寝付きの時間と目覚めの時間を加味して設定した時間になっています。

また、晩ごはんの時間も、食後の入浴の時間も含めて就寝まで最低2時間を取ることを推奨しています。

お手入れについて

⚠ 注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。
- 照明器具に水をかけたり、水の中につけたりして洗うことは絶対におやめください。火災、感電の原因になります。

※照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

次のものは使用しない



ベンジン



シンナー



みがき粉



タワシ



スポンジの硬い面

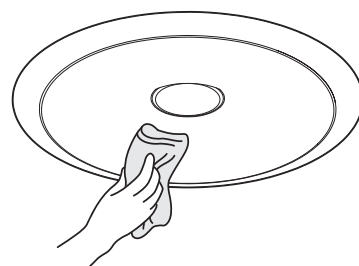
■照明器具

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る



中性洗剤

■リモコン

送信部の汚れを、乾いた柔らかい布で拭き取る

汚れるとリモコンが効きにくくなります。

送信部



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が操作できない	→ リモコンの電池が正しく入っていない	→ 電池を正しく入れてください。
	→ リモコンの電池が消耗している	→ 2本とも新しい電池に交換してください。(5ページ参照)
	→ 照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない	→ 照明器具とリモコンのチャンネルを合わせてください。(6ページ参照)
照明器具が点灯しない	→ 壁スイッチがOFFになっている	→ 壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONしても点灯しない	→ 照明器具が「消灯」状態になっている	→ 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。(11ページ参照)
ぐっすりモードが動作しない	→ リモコンの時刻が設定されていないか、ずれている	→ リモコンの時刻を設定しなおしてください。(14ページ参照)
	→ ぐっすりモードボタンが押されていない	→ ぐっすりモードボタンを押してください。(19ページ参照)
	→ 壁スイッチを操作したか、OFFになっている	→ 壁スイッチをONにしてぐっすりモードを設定しなおしてください。リモコンを照明器具と通信できる場所に置いてください。(16ページ、19ページ参照)
	→ リモコンが本体と通信できないところにある	
操作していないのに明かりが消える	→ おやすみモードやぐっすりモードが設定されている	→ タイマーの設定通りであれば故障ではありません。
操作していないのに明かりがつく	→ 短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります	→ 使用しないときは、壁スイッチをOFFにしてください。(ぐっすりモードを設定しているときは除きます。)
操作していないのに明かりが変わる		→ 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。(11ページ参照)

それでも解決できないときは・・・お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

品番	消費電力	器具光束	定格電圧	定格周波数	待機電力	サイズ	質量
CL8DL/S-FEⅢ	最大点灯時：25.3W	4299lm (最大点灯時)	AC100V	50/60Hz	0.5W	φ590 × H76 mm	約2.0kg
	最小点灯時： 5W						
CL12DL/S-FEⅢ	最大点灯時：32.3W	5499lm (最大点灯時)					
	最小点灯時： 5W						
CL14DL/S-FEⅢ	最大点灯時：35.8W	6099lm (最大点灯時)					
	最小点灯時： 5W						

※LEDモジュール寿命は40,000時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が70%に低下するまでのいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■ 長期ご使用の場合は商品の自主点検をおすすめします

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 照明器具を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 変形、がたつき、ゆるみなどがある。
- 照明器具に破損がある。



使用中止

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工事業者に点検をご依頼ください。左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

LEDシーリングライト CL8DL/S-FEⅢ CL12DL/S-FEⅢ CL14DL/S-FEⅢ

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より:3年間 ただし、消耗品を除く	
お 客 様	お名前		※ 販 売 店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) 0800-888-2600

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください